

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No. 6 2 2 0 1 2 . 8 . 1
発 行 責 任 者 柿 本 克 彦
編 集 責 任 者 教 宣 部

田中助役が組合掲示に介入！！

「断り無しに私の名前が出ているがどういうことだ！」

7月21日（11時頃）、徹夜勤務のため現場詰所で待機していた大仕両の柿本分会長に対して何らかの要件で詰所に顔を見せた田中助役が分会掲示板に掲出している『分会情報No.58』に田中助役の名前が出ていることについて「断り無しに私の名前が出ているがどういうことだ！」と組合掲示物に対して介入するという前代未聞の出来事がありました。

「独り言」と言い変えても不当介入！

柿本分会長が組合掲示物への不当な介入行為に対して「私は今、勤務時間中ですが組合の話を行っても良いんですね！？」と返すと田中助役は「今のは独り言、独り言」と連呼して組合掲示物への不当な介入行為を行った事を「独り言」と言い換えて責任回避する一人芝居を演じました。

**組合掲示物への管理者の介入行為は勤務時間だろうが休憩時間だろうが不当労働行為なのだ！
断固抗議する！！**

再度、明らかにします。仕業検査後の多目的室の未施錠の申告に対して、出庫後に他所で整備を行っていると分かっているながら「時系列等報告書」を書かせる必要はなかった！！

仕業担当者は、施錠を行ったことを「口頭」で答えています。まして乗務員が車両所から回送する際の車内点検も行なっているのです。他所での整備があったことが分かっているながら、わざわざ「時系列等報告書」を書かせる必要はなかったのです。

今後、無用な「時系列等報告書」の強要を繰り返さない為にも社員に謝罪することが管理者の「やるべきこと」ではないでしょうか。